

星降る

有森信二

凍りつく夜に

今

星降る

空は鉄色

息詰まる蒼さの

宙を呑み

息詰まる疾さの

時を呑み

今

無音のまま

天頂から

紫色の

星降る

流れる

雲が流れ

時が流れ

人が流れる

山が流れ

空が流れ

星が流れる

海が流れ

岸辺が流れ

涙が流れ

情こころが流れ

縫い込められた

歴史の糸が

音なく流れる

絶対無

物も存在しない
時間も存在しない
人も存在しない

存在しないことが
永劫に回歸する

神も

仏も

宙空などと呼ばれた

劇場も

何もない

かつて瞬毫の間に

そんな幻の光が

一閃したのだという

テンゴク

けんけんばけんけんばと
周りを

スカートの子が跳ぶ

地面に描かれたひねくれコース

ビー玉を指で弾いて

一周する早さを競う

けんけんばけんけんばと

スカートの子が白い足を

大きく開いて風に舞う

ビー玉遊びの名前は

テンゴクという

早く一周すれば

そこはテンゴク

一丁上がり

要領のいい子は
ドジな子の二倍も早く
テンゴク行きだ

要領の悪い子は
確かジゴク行きも
あった筈

けんけんばけんけんばと
スカートの子が唄いながら
テンゴクに行った子の頭を
フワリとスカートで包む

テンゴクに行った子は
スカートの奥を
見上げる
じっと見上げる
いつまでも見上げる

ここは本物の

テンゴクの入口よ

ここが本物の

テンゴクの入口なのよ
とスカートの子が唄う

けんけんばけんけんば

けんけんばあのおけんけんば
ビー玉をパチンと弾いて

早くテンゴクに行かないと
時間がないよと誘いかける

ここは本物の

テンゴクの入口

ここが本物の

テンゴクの入口なの

けんけんばけんけんば

けんけんばあのおけんけんばと
スカートの子が舞い唄う